

今年度より始まった2つの新事業

地域の福祉を、
より支える存在へ。

あさひ

第93号

感謝

平成 30年10月1日発行

特集

朝日園を支えてくださる
『縁の下の方たち』

各事業所の取り組み

輝人（職員・利用者さんご紹介）

年賀状印刷



今年度より、タイトルを「感謝」から
「あさひ」へリニューアルしました。



社会福祉法人 朝日園



社会福祉法人 朝日園
理 念

私たちは報恩感謝の心をもって 福祉の支援を 必要とする人々に 希望の明かりを灯し続けます

～理念への想い～

生きること生活していることに「有難う」と思う感謝の心を常に持ち朝日園にかかわる全ての人たち（利用者・職員やその家族）が安心して幸せな人生が送れることはもとより、地域で何か困ったことがあれば福祉の手を差し伸べられる希望の灯台であり、地域で必要とされる温もりのある法人で在りたい。





社会福祉法人朝日園

理事長 高橋 英雄

皆様には常日頃、社会福祉法人朝日園に對しまして、暖かいご支援ご協力を賜り、誠に感謝申し上げます。

『身体障害者の福祉を考えると、その根底となるものは人間尊重。憐れみとか施しではなく、人間相互のふれあいを大切にすることが第一に大事なことである。この人々が人生に別れを告げるとき、「ありがとう」とお礼を言って別れられる、そんなぬくもりのある社会を作ることである。』

これは、創設者白井要平氏の著書「曙杉」の一節です。人権尊重とは異なり人間尊重は、人間が人間を尊重することであって、人間を中心とした考え方をしています。

この度「曙杉」を読み返し、改めて施設職員は、障害者のことを尊重し思いやり、地域福祉の発展に役立つ存在となり、法人全体で一致団結して福祉の向上を目指していかなければならないことだと感じました。

今年度よりスタートした「高松市障がい者基幹相談支援センター事業（地域拠点）」と、「三木町地域生活拠点事業」は、障害者が住み慣れた地域で自分らしい生活やサービスを使い続けられるよう障害児・者に関わらず、総合的・専門的な相談や情報提供、緊急時の受け入れや日中の体験の場として施設を提供し、地域の福祉を支える事業です。

今後、この二つの事業には担当職員だけでなく、法人全体として関わっていくケースも出てまいります。職員の誰もが専門的な知識、経験だけでなく人間と人間とのふれあいを大事にする思いを持ち、障害者の方々や地域の方々に、最後には心から「ありがとう」と思っていただけなことを目標に、歩んでまいります。



朝日園を支えてくださる

縁の下の力持ち



社会福祉法人朝日園
後援会長

佐藤 哲男様

私の両親と朝日園の絆

「あれ、果樹園が無くなっている。」

社会福祉法人 朝日園が開園された昭和五十一年頃、私はこの三木町には住んでいませんでした。遙か遠く静岡の地で、富士山と三保の松原を眺めて、何とも贅沢な学生生活を過ごしていました。久し振りに帰省すると、果樹園だった所に白い建物が出来ており、何が起こっているかと思っていました。

その果樹園には、父が丹精込めた桃・柿・ブドウなどが植えられていましたが、全てが消えていました。父が朝日園の創設者である白井要平氏とどのような話をし、果樹園を手離したのかは、後々時間があり余る程あったのに、結局、聞くこともなく去ってしまいました。

社会人になった私は、転勤の連続でした。実家に帰った時、母が朝日園の厨房職員として働いていることを聞き、「まずいご飯を作っているんじゃない。」と、冗談半分に言った時、普段は優しい母が「ムッ」とした顔をしたのを、今でも覚えています。後に当時の仕事仲間から聞いた話では、栄養面や献立などの勉強を一所懸命にやっていたようです。

その母も平成二十五年七月に不慮の事故で去ってしまい、父と同様に朝日園に勤めたきっかけ、仕事の様子については十分に聞けないことになりました。

私のことになりますが、平成二十年頃に白井義男理事と出会い、朝日園の事業内容について、自身の経験を交えて教えていただき、今日に至っております。

父・母と朝日園との深い結びつきを振り返る時、また、私と朝日園のこれからの結びつきを考える時、太い絆のもとに導かれている気がしてなりません。これからも、この絆を大切にしていきたいと思います。

地域に根ざした存在へ

人は生まれた時から全て等しい人間で、頭の善し悪しや五体満足によつて差別されるべきではありません。

核家族化も進み、家族での介護も難しくなってくる近年では、地域、施設での助け合いは大きな力となるでしょう。新しい福祉の時代の流れに対応し、

「社会福祉法人 朝日園」が皆様に期待され、より地域に根ざした存在になるため、精一杯頑張りたいと思います。



印刷現場の見学

軽作業をご体験。
細かな作業をこなす利用者さんに
感心されていました。





日本音楽療法学会認定音楽療法士
音楽療法センター
「フロイデ」センター長
香川短期大学講師
国立音楽大学 卒

児玉 令江子様

オーダーメイドの音楽療法

音楽療法とは、療法目標（身体的、精神的健康の回復や維持、改善）を達成するために音楽を活用することです。レクリエーションのように「楽しかったね」だけで終わるのではないし、音楽教育のように「教える」ということはせず、必ず目標に向かった音楽を、薬の代わりに処方（オーダーメイド）していくのです。

各事業所により目標設定が違うこともあり、その日の利用者さんに合わせたキーの高さや速さなどに常に気を配って音楽を提供しています。そして、個々の問題を軽減し少しでも生きやすい毎日を送っていただけたらと思っています。また、童謡・唱歌を歌うときなどは幼稚にならないように、伴奏をジャズやラテンにアレンジすることもあります。

みなさんの良い表情が嬉しい

各事業所に行くようになってから随分日が経ちましたが私が部屋に行くときみなさんが待っていてくださるのが、とてもありがたううれしいです。

また、私のセッションを受けてくださる方は、みなさんとてもいい表情をされて、歌ったり楽器をされたりします。

障がいを持っていて社会人になられた方は、なかなか訓練も息抜きも難しいのですが、それらを音楽療法の時間の中でしっかりと体験してくださっています。そして、少しでも生活の質が向上しているものだと期待をしています。

これからも、みなさんとともに楽しく音楽をしながら訓練につなげていけるように努力していきたいと思っています。

各事業所での取り組み

◎朝日園

車いすの方や身体に障がいのある方が多いので、音楽に合わせて身体を動かす活動を多めに取り入れています。

また、ストレス発散のためにリクエスト曲の歌唱をすることもあります。年齢層が広いので、その年代に合った曲の選択をします。とても、大きな声で歌われたり、指揮をされる方が出てきたり、会話も弾むことが多く、活動を楽しみにしてくれています。

◎朝日平成園

季節感を感じ、生きやすい毎日を送っていただくためのプログラムを用意します。歌遊び、手遊びなどを取り入れ、楽しい時間が過ごせるようにし、心の安定を図り、後の活動がスムーズにできるようにします。

最近では、個人的な発言だけではなく、会話を楽しめるようになってきました。自分の得意分野を発言することで、自己実現（マズローの心理学）へつなげ自信が持てるようになりました。

◎すずらん

この事業所に来させていただき、もう十五年になろうとしています。レパトリーの広い方や、発語が困難の方が歌を歌われて驚いたり、普段開かない目が開いて、私たちも感動したりしてしてきました。

現在では、言語訓練のための司会者設定をしたり、自分の意思伝達を向上させるためにリクエストを選曲していただいたり、テーマソングを位置づけて、反応を引き出している方もいます。

◎あさひ

主にストレス発散に焦点をあてており、自分の好きな曲をリクエストしていただき、集中力を持続するため伴奏のアレンジに工夫をします。

その際、昔話をされたり、日々の社会情勢を話されたり、活発に発言されることで生き生きとした表情になられます。



先生に、感謝の気持ちを込めて表彰状をお渡ししました。



訓練だけではない『仕事』としての意識

朝日園の印刷業務は、開園当初よりの授産科目であり、以来、様々な設備を整え、日々技術向上に励んでいます。



▲印字科

現在では最新のオンデマンド機を導入し、お客様のニーズに合った商品が幅広く受注できるようになりました。

またそれにより、利用者さんが名刺やチラシ、ポストカード等を職員の手を借りずに、データ制作から印刷にかけるまでの作業を行うことができ、達成感や責任感をより感じながら「仕事」に励んで



もらえるようになりました。

また、当然ながら印刷の質には、なにより気をつけ、機械と向き合いチェックしています。

それと「怪我をしない」という事にも細心の注意をはらっています。

印刷現場では、機械が作動する大きな音で溢れています。その音が聞こえない利用者さんもいます。機械は両手両足が使える事が当たり前としてつくられたものです。何が危ないか、その事を利用者さんにどう伝えるかを常に考えています。



▲印刷科



来年は、猪年ですよ～
オリジナル年賀状制作中です。
新入職員頑張ってマス！



今では、めずらしくなった「製袋機」。薬袋などをつくる事ができます。
存在感のあるこの機械は、朝日園の歴史の証。
まだまだ、現役活躍中です！
年賀状をご注文いただいた方に、プレゼントしている
オリジナルポチ袋も、この機械で作られています。
ポチ袋は、四国 88 ショップなどでも販売しています。





篠原 ゆかりさん



**自分の仕事に自信が持てる。
そう思えるようになったのは、周りの皆のおかげです。**

高松養護学校を卒業後、印刷科に約 30 年勤めています。
きっかけは学校の先生の勧めで、当時は障害に差別のある時代で、施設で働く事には、とても抵抗があったのですが、今では朝日園を利用して良かったと思っています。

主な担当は、印刷が終わった用紙の丁合作業と、数入れした伝票のナンバーチェックを行っています。

手足に震えや緊張があり自由に動かすことが出来にくく、物を取る時の力加減が調整しにくいと、最初のうちは掴んだ紙が破れてしまったり、ナンバーを読み飛ばすことが多かったと。また、学校と作業の時間の違いにとっても疲れていました。

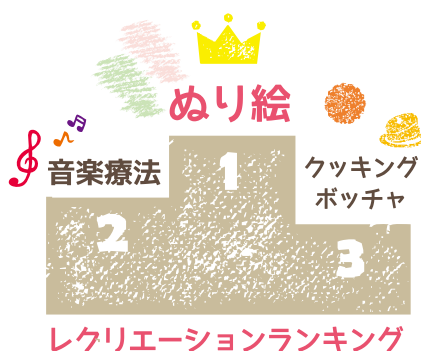
「自分に何ができるのか・役に立てるのか」分からないまま不安でいっぱいでした。

しかし、作業のコツや注意点を職員や同じ科の皆さんに教えてもらい、上達してこれたと思います。「自分にも出来ることがあるんだ!」と自信を持つことができました。今では揃えるだけでなく、印刷のズレや汚れにも注意しています。

作業に限らず生活の面でも、支援員さんに相談に乗ってもらえてとても助かっています。今の作業を、体が動く限り続けていきたいと思っています。またレクリエーションや外出行事にも積極的に参加し、楽しく働き続けることが目標です。

※丁合作業…伝票や冊子などをページ順に揃える作業

生活介護



生活介護では、午後からレクリエーションや創作活動を行っています。トランプ等のゲームやプラ板キーホルダー作り等、毎日違った内容を考え、日々の生活が充実し、楽しく過ごしていただけるよう心がけています。

利用者さんは「今日は何をするんや?」と、活動に興味をもって参加されています。今後も、ゲームや創作活動に加えて、パズル等の脳トレやトレンド映画鑑賞等、活動の幅を広げていくよう努力していきます。

毎日違った一日を過ごす



仲間と取り組む農園作業

施設近隣の農園で収穫作業！

● キャベツの収穫

どうすれば効率よく作業ができるのか、参加メンバー全員で考えながら行いました。暑い中での作業となりましたが、根気よく、熱中症にならないようしっかりと水分補給をしながら取り組みました。

たくさんさんのキャベツを台車に入れて運びます。運んだキャベツは、みんなでリレー方式で受け渡し、トラックのコンテナがいっぱいになるまで作業に取り組みました。



息の合った連携プレー！



● 梅の収穫

2種類の梅を班に分かれて収穫しました。木の下や上の方に実った梅を、それぞれ工夫しながら一生懸命集めます。また農園の方のご厚意で、収穫した梅を分けていただき、梅ジュースを作りました。とても美味しくできあがりました。



汗をかいた後に食べるうどんは格別だなあ！

新商品できました！

ウサギ、リス、キリンなどのかわいい「ぬいぐるみ」ができました！利用者さんには、綿詰めを担当してもらっています。かわいい表情とフエルトの優しい手触りが、お子様に大人気です！また、手足に洗濯ばさみを入れた、動物クリップも。ナイスハートバザールなどで販売しています。



土に触れる園芸体験

「実っているところが見てみたい」「野菜を育ててみたい」そんな利用者さんの声からはじまったプランター菜園。苗植えから収穫まで、みんなで力を合わせて育てています。



② 苗植え

土が柔らかくなったら、苗を植えていきます。「どんなお花が咲くのかな?」「どんな野菜が実るのかな?」と大盛り上がり!!



① プランター準備

みんなで土を耕します。スコップを通じて、伝わってくる土の感触を確かめながら作業に取り組みます。



④ 収穫!

そして7月! 実った野菜を収穫しました! 自分たちで育てた野菜の味をその場で味わいました!



③ 肥料・水やり

自分たちで植えた野菜たちの様子を観察しながら、水やりを行います。だんだんと成長していく野菜たち。収穫のことを考えるとワクワクが止まりません!

園芸体験を行うことで、「土に触れる楽しさ」「育てる楽しさ」を利用者の方と一緒に感じることができました! これからも菜園を実施して、現在レクリエーションとして行っている調理活動で、育てた野菜を使用したメニューを提供したり、季節に応じた野菜作りに挑戦していきたいと思います! 朝日平成園にお立ち寄りの際は、一丸となって育てている私たちの「菜園」を見てください!



仲間と楽しむ、
素敵なこと

ボーリングやBBQ、花見にシヨッピング。みんなの楽しいこと。好きなこと。たくさん思い出。とっておきの笑顔。今後も利用者の皆さんと輝いていける朝日平成園を目指していきます。



身体を清潔にするために欠かせない日々の入浴

自宅の浴槽が狭くて入浴が難しい…シャワーだけでなく浴槽に入って全身を温めたい…このような悩みを抱える方の為に、すずらんでは専用の機械浴用浴槽を利用した入浴介助を行っています。

身体の麻痺や拘縮が強く、立ったり座ったりが困難な方などを対象に、ストレッチャーに寝たまま入浴できるお風呂です。



職員2名で洗顔、洗髪、洗体を行っています。

この際皮膚、頭皮に異常がないか全身の状態観察を行い、その後湯船にゆっくり浸かっていただきます。



赤外線ヒーター



冬場の洗髪・洗体中、身体が冷えないよう浴室内天井にヒーターを取り付けています。

アメニティグッズ



皮膚の弱い方、頭皮のふけ、かゆみの気になる方…様々な悩みに対応できるようシャンプー、リンス、トリートメント等豊富に準備しております。

すずらん入浴のスゴイところ！



新しく取り入れました！



米田歯科（訪問）

身体的・精神的な障がいがあるなどの理由で、ご自身での歯科医院に通院が困難な方のため施設利用中に歯科Drの診察、治療を受けることができる訪問歯科を取り入れています。

ご利用者さん、ご家族からは病院にわざわざ出向かなくて良いので、口腔ケアから虫歯治療まで気軽に受けることが出来ると大変ご好評をいただいています。

ハンドマッサージ

ハンドケアには、リラクゼーション効果だけでなく、手の拘縮緩や血行促進など様々な効果が期待されます。すずらんでは、まず香りや効能…ご自分に合ったハンドクリームを選んでいただき、ハンドケアに関する専門的な研修を受けた職員がマッサージを行います。

今年初めには、ご家族の方にもハンドケアを体験していただきました。

バリエティブサポーター認定講座修了証▶



◆作品展覧会

楽しいイベント盛りだくさん！



ご利用者さん一人ひとりが創作活動で制作した作品で作品展を開きました！
ご家族の方にもご案内し、普段の様子を見ていただきました。

◆外出行事へさめきこどもの国



リハビリセンターの福祉バスを利用して大勢で外出しました。

昼食はトレスタ白山のレストランで豪華なランチ定食を食べ、その後、さめきこどもの国に移動しプラネタリウム鑑賞☆

初めて体験される方もおり、目をキラキラさせていました。



いくつかの中から選ぶ、階段を登る、エレベーターに乗る、買い物をする等々たくさんしてみたいことがあるはずです。

「あつ！できた」と明るい笑顔がたくさん見られるように工夫、支援をしていきます。

一人ではできない、不安だ。とあきらめてしまったり、できにくいことをどのようにしたらいいのかわからない。という方に「だったらこうしては？」と少しお手伝いすることで障害を乗り越えて、楽しく過ごしてもらいたい。「できる」、「出来ない」ではなく「したい」、「してみたい」で選んでもらいたい。と思いプログラムを作成しています。

「出来ない」とあきらめるのではなく、「したい」を後押ししていきます。

障害者生活支援センター あい 障害者相談支援センター

今年度より、高松市基幹相談支援センターの地域拠点となりました。地域の相談窓口となり、あらゆる困りごとに対応していけるよう活動していきます。



共に生き、活かされる社会の実現に向けて

障害者生活支援センターあい 相談支援専門員 菅原仁司

障害者が身近な地域で安心安全な生活を実現していくために相談支援事業は、大変重要な位置を占めています。

障害のある方は、障害が起因している機能障害による様々なことができにくいことだけではなく、社会とのつながりや障害に対する無理解のための偏見による差別と社会からの隔絶の歴史が続いてきました。1980年の『完全参加と平等』のスローガンの国際障害者年を契機としてノーマライゼーション理念が浸透して、国連による障害者の権利条約採択により近年の障害者施策の充実が図られています。

しかし、障害のある方を取り巻く環境は、一人ひとり様々で必要とされる支援は、多岐にわたるのが現状です。また生活する地域の特性や資源量も地域により様々です。

その中で相談支援事業が担う役割は、障害のある方や家族の一人ひとりに寄り添い、不安を解消し、信頼関係を構築して自立のための課題を洗い出し、課題を克服するために障害者と共に考え、社会生活を行うための資源の活用方法を提供することです。また、社会とのパイプ役となりより良い生活が可能となるように公的なサービスの開発、インフォーマルのサービスの充実等本当に幅広く専門性も問われるものがあります。人をつなぎながら支援していく過程では、意図しない挫折もありますが、自分でも人間的成長を感じやりがいを感じる事業です。

“自分でできることは自分で” “自分でできることを増やそう”

朝日つばさに入居している皆さんは、一人ひとりが自分らしく“自律”した人生の実現を描き、将来にわたって“自立”した生活を送るために、ホームヘルプサービスを利用しながら『自分でできることは自分で』『自分でできることを増やしていく』ことを目指して生活されています。

毎日の生活の中で“少しずつ”を積み重ねることに

「ヘルパーさんと洗濯物を上手に干せるようになったー!」「ヘルパーさんと移動支援で散歩に出て、体力がついて車いすを早くこぐことができるようになったよ」

「一人で起きて一人で着替えることができるようになったよ」等、ひとつずつ目標を達成され、生きがいや喜びを感じられることで“次はこうしてみたい”と意欲的な生活を楽しまれています。



朝日ヶ丘

福祉ホーム



「朝日園で働きたいが住む所が見つからない…」という障害をお持ちの方に、低額な料金で居室を利用頂くことで朝日園での就労・生活を送ることが出来るようお手伝いします。

●所在地

〒761-0701
香川県木田郡三木町池戸 857 番地 8

●設備

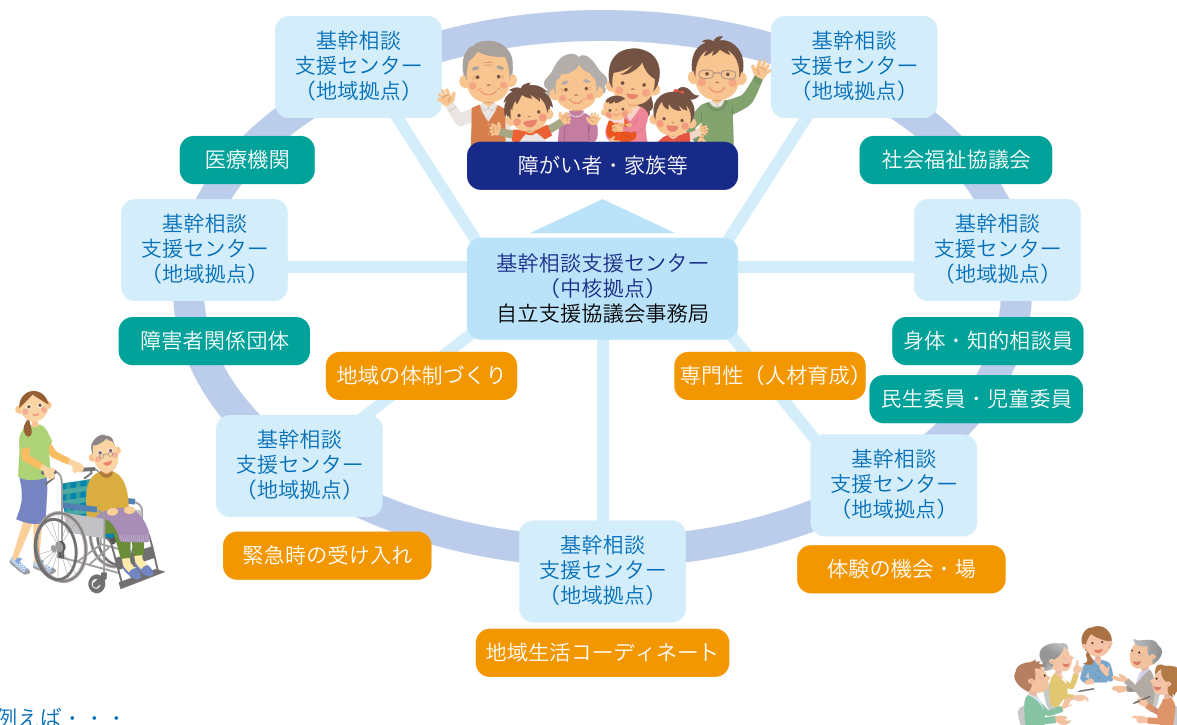
1人向け個室・2人向け個室
浴室・炊事場共同
室内ミニキッチン
トイレ有り



～基幹相談支援センター事業（高松市）～

障がい者が、住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるよう、障がいの種別に関わらず、総合的・専門的な相談や情報提供・助言、既存の障害福祉サービス事業所等との連携調整などを行います。

『障害者生活支援センターあい』は、高松市に7カ所ある地域拠点の（古高松・前田・川添地区）担当として活動しています



例えば・・・

◎障がい者本人の困りごと

- ＊お金の管理、仕事など生活に困っている。
- ＊病院から退院するが、自宅での生活が心配。
- ＊自宅の近隣で利用できる福祉サービスを教えて欲しい。

◎障がい者の家族の困りごと

- ＊子どもの将来が心配。
- ＊息子が長年引きこもって行き場がない。
- ＊家族の緊急時に見守りをして欲しい。

◎専門機関（教育・医療等）の困りごと

- ＊クラスに障がいのある生徒がいるが、利用できるサービスを教えて欲しい。
- ＊入院患者が病院を出たいとの希望があるが、自宅での生活が心配。

◎障がい者の権利擁護・虐待防止

- ＊障がい者の権利擁護に関する研修・勉強会を実施するなど、普及啓発活動を通じ、障がい者虐待の防止や障がいを理由とする差別の解消に取り組みます。
- ＊成年後見制度の内容や利用に関すること。

◎地域（民生委員・警察等）の困りごと

- ＊一人暮らしの障がい者が困っているようだ。
- ＊福祉サービスが必要な人がいるが、どこに相談すればいいかわからない。
- ＊地域の障がい者からの相談を一緒に聞いて欲しい。



まずは、お気軽にご相談下さい。

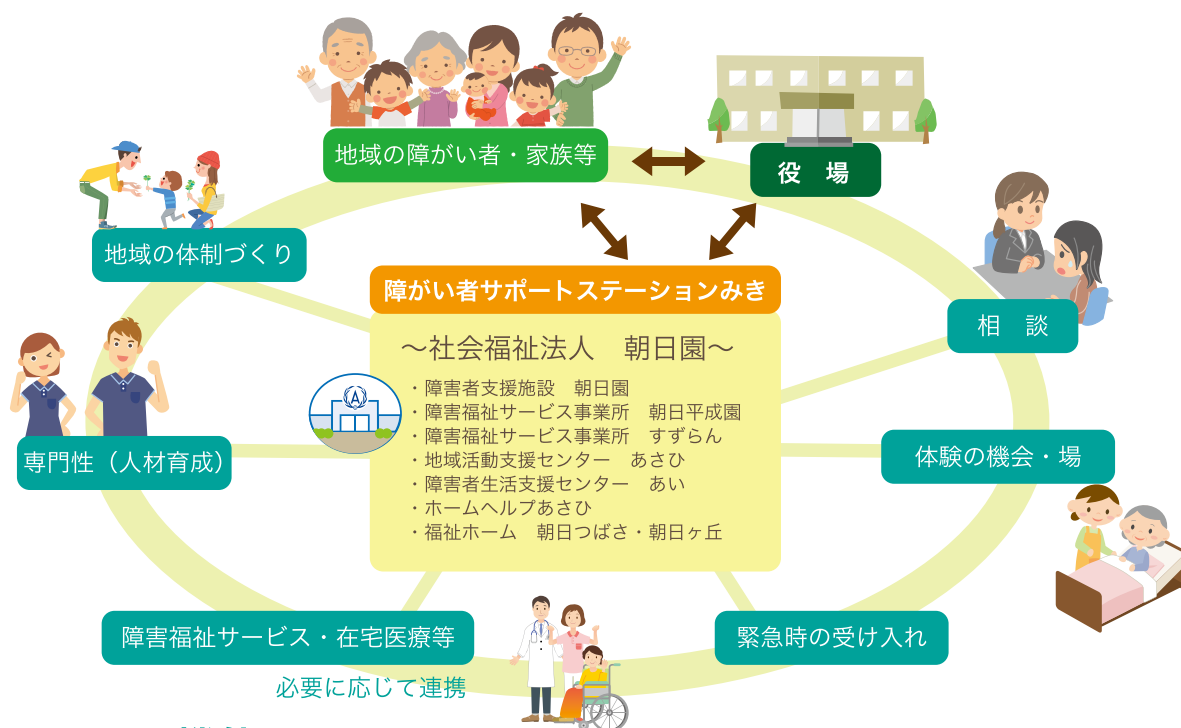
『障害者生活支援センターあい』 電話 087-847-1021

～三木町地域生活支援拠点事業～ 「障がい者サポートステーションみき」

障がい等の重度化・高齢化や「親亡き後」に備えるとともに、地域移行を進めるため、様々な障がいにも対応できる専門性を有し、地域生活において、障がい者等やその家族の緊急事態に対応を図るものです。

『障がい者サポートステーションみき』

として、法人朝日園全体で受け入れ体制を整えています。



5つの機能

① 相談

24 時間体制で携帯電話による電話受付をしており、職員が交代制で行っています。

② 緊急時の受け入れ・対応

電話相談から朝日園のショートステイや朝日ヶ丘にある部屋を利用するかたちで緊急時の居場所を確保しております。

③ 体験の機会・場

日中活動の場や宿泊等を、まずはご体験していただけます。

④ 専門的人材の確保・養成

県内外の研修等に参加し、様々な知識を身につけていきます。

⑤ 地域の体制づくり

三木町役場、相談支援事業所をはじめとする社会資源とのつながりを有効に活用し地域移行を図ります。



皆様が、安心して毎日を過ごせるよう地域の中心となって支えています。



障害福祉サービス事業所 すずらん

生活支援員

小蓑 百合恵 さん

「福祉の世界に入ったきっかけは？」

小学生の時に障害のある方と同じクラスになり、教室移動やお掃除のお手伝いをした時の「ありがとう」の言葉が福祉に興味をもったきっかけです。

「介助・介護の中で一番気を付けていること、大事にしていることは何ですか？」

いつも利用者さんの気持ちを一番に考えることを大事にしています。すずらんには意思疎通が難しい方もいらっしゃるのですが、表情や声で何を伝えたいのかな？ということも考えるようにしています。あと笑顔を忘れないようにしています。

「この仕事をしていて、印象に残っていることは？」

ご飯を食べることをお手伝いしたり、トイレ介助をしたり、靴下を履かせてあ



食事や歯磨きなどは、優しくゆっくり声かけをしながら。

すずらんは、働くママがたくさんいて、子育てと仕事の両立をととても助けてくれる職場です。育児休暇を取らせていただいたり、今は育児短時間勤務を使わせてもらっています。大変な時もありますが、職場のみなさんと子育てについて話したり、時には相談も聞いてもらったりして私は頑張ることができています。子育ても仕事も、しっかりと楽しみながら焦らずやっていこうと思います！

「お二人のお子さんがある小蓑さん、育児と仕事の両立はどうですか？」

げたりなど、なんでもないことなのに利用者さんから「ありがとう」と言われたことがとても印象に残っています。利用者さんの笑顔がやっぱり一番です！



得意のクラリネット♪

「今後、やってみたいことは？」

学生のころから、吹奏楽をしていて音楽が大好きなので、すずらんの利用者さん、職員みなで演奏会をしたいです。

先日、職員で演奏をしたころ、みなさん楽しそうに聞いてくれました。今度は、一緒に演奏をしたいなあと。きつと楽しいはず！みなさんは非聴きにきて下さいね♪



上司の大西主任より一言！

小蓑さんはいつも穏やかに、にこやかに利用者さんと接してくれ、すずらんきつての癒し系です。お家でもママ業で大忙しだと思いますが、たまには息抜きもしながら、子育ても仕事も頑張ってくださいね。



障害者支援施設 朝日園
就労継続支援B型／パラリンアーティスト
谷口 豊己 さん

「朝日園の利用を始めたきっかけは？」
「就労移行支援」の施設に通所していた時「終了後、パソコンを使って仕事ができる」と感じ、養護学校の時に実習をしたことを思い出して、「朝日園に行きたい!」と思ったからです。

「いつもはどんな仕事をしていますか？」
普段は、日課として職場の作業状況が分かる日報を印刷しています。その後は名刺作成したり、書類を作成する練習をしています。自分の任された仕事が終わらなかつたり、間違えてしまったときは焦ってしまいます。そんな時は、深呼吸をして、胸をトントンとたたき「大丈夫、大丈夫。みんなの声をきけ!」と言い聞かせています。



『祭り』

力強さが印象的。
マジックを使って描く事が自分には合っているそう。



『ステーキ』

「パラリンアートのアーティストとして、今後の抱負や目標はありますか？」
小学生の時に「油絵」を描いたことがきっかけで、描くことが好きになりました。今は「余暇活動」の時間を利用して自由に絵を描いています。

最近ではテーマがある絵に挑戦し、仲間と想像を膨らませ、評価しあいながら描くことがとても楽しくなっています。自分が持っている感性から浮かぶイメージや色使いを生かして、これからも活動していきます。

この活動が楽しいからこそ、毎日の仕事も頑張れています。今後も普段の仕事としっかり両立しながら、どんどんとスキルアップしていろんな絵を描いていきたいです。

支援員の植松係長より一言!



数年前にある利用者さんの描いた大きな絵が作業場にある、とても迫力のある絵だなと思いました。その年に朝日園の年賀状に使われた絵だったのです。後で谷口さんの絵だと知り、私も絵画も同様に熱心に取り組む姿勢を見て、大きな結果は小さな積み重ねからできることだと感じます。これからの活躍に期待しています。



※パラリンアート

朝日園法人合同 年間行事 (平成 29 年 10 月～平成 30 年 8 月)

平成30年4月7日

開園記念式典 花見会

法人朝日園も創立42周年を迎えました。桜は散っていたけど楽しい一日でした。



皆でピース☆
今年度も
力を合わせて
頑張ろう！

平成29年10月14日

地域交流 ふれあい秋まつり

つなぐをテーマに地域の皆様と歌で、踊りで、様々な形でふれあいました。

みんなで体操！
1・2・3♪



平成29年12月27日

忘年会

おいしい食事と抽選会。楽しく1年を終えることができました。



不思議じゃな～!?



スポーツ 大会

リハビリテーションセンターで、
丸亀競技場で、愛媛県で…
全力を出し切ってきました!!



全国障害者スポーツ大会予選

平成30年5月13日・20日

全国障害者スポーツ大会

えがお
(愛顔つなぐえひめ大会)

平成29年10月26日～31日



平成30年2月3日

アビリンピック かがわ

日々の練習の成果を発揮！
たくさんの人に見られなが
らの作業、緊張した～…



平成30年8月17日～19日

ナイスハート バザール

毎年ゆめタウン高松で開催して
います！この日のためにたく
さん準備をしてきました！



2日間
楽しかったでー！





AIP 活動

AIP とは、あさひ・インディペンデンス・プランの略。
職種別のグループに分かれ、職場の問題点をとりあげ、1年間改善に取り組んでいます。

最優秀賞の総務グループ発表テーマ

- ・厨房設備の現状不足
- ・利用者の高齢化重度化に伴う食事形態の見直し

○テーマ選定の理由

厨房設備の現状不足と利用者の重度高齢化に伴う食事形態の見直しを行いたいと思いこのテーマを選定しました。
また毎月実施している職場衛生研修により、厨房職員全員の衛生知識の共有と向上、衛生管理の徹底を行います。

○取り組んでよかったこと

厨房増設に向けて職員の現設備の問題点の共有と増設に必要な知識情報の収集ができたことが良かったです。
また、全員で問題を出し合い、テーマの解決に取り組むことで、厨房職員全員の調理のレベルアップ、意識向上にも繋がりと、厨房の衛生状態も以前より改善されました。今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。



安全衛生活動 GSHMS

(グッド・セーフティ・ヘルス・マネジメント・システム)

GSHMS とは、利用者さんと職員が安心して働き、生活できる組織を作るために構成しています。法人内において「災害の撲滅と職員・利用者及びその関係者の健康増進」を目的としています。

5S パトロールの実施

年間3回実施しており、整理整頓の徹底や危険個所の改善を進めています。



積まれていた廃棄物品の整理。
整頓され綺麗な見た目に、飛び出していた物も撤去され、転倒の危険性も減少。

※5S パトロールとは …

職場環境改善の際に各職場において徹底されるべき事項「整理・整頓・清掃・清潔・しつけ」の5項目が守られているか、担当者が作業場を巡回し、確認を行うこと。



制服が新しくなりました！

引き締まった紺色にブルーとグリーンのラインがかっこいいです。ポケットの数も、2つに増えて機能性もばっちりです。

新しい制服に身を包み心機一転、仕事も余暇活動も楽しみながらがんばります！



とっても気に入ってしま～す！



禁煙講演会

7月31日、森田純二先生（香川県予防医学協会顧問・日本禁煙学会理事）に来園いただき、「たばこの正体を知る」と題し、GSC 健康講演会を開催しました。受動喫煙による家族等の健康被害や COPD（慢性閉塞性肺疾患）の恐ろしさについて研修しました。今後、敷地内完全禁煙を目標に安全衛生活動を推進します。



朝日園の年賀状印刷

社会福祉法人朝日園は年賀状印刷を今年も開始致します。毎年多くのお客様に当法人の年賀状印刷をご利用いただき、誠にありがとうございます。

今年の干支は「猪」です。かわいいデザインから商業用のスタンダードなもので、全部で七十点以上用意しております。ご家族の写真を入れることが出来るデザイン、「うどん県デザイン年賀状」も毎年ご好評いただいております。利用者さんの描いた絵や文字を使用したオリジナルデザイン年賀もご準備しています。

また今年は、三木町とのコラボレーション年賀もできました。三木町オリジナルの年賀状を使って、三木町の良さを目一杯伝える年賀状を送ってみませんか？コラボ年賀状の申し込みは、三木町役場までお問い合わせ下さい。

毎年ご利用頂いている方も、朝日園の年賀状印刷を初めて知ったという方も、ぜひよろしく願います。



三木町 × 朝日園
「コラボ年賀状」登場！

年賀状印刷

障害者支援施設
三木町 × 朝日園
2019

早めの注文がおとく

150 153 154

11/24 までにお申し込み 超早割20%引き
12/10 までにお申し込み 早割10%引き

※デザインは製作途中のもので変更となる場合があります。



- ・働きたい！印刷の仕事に興味がある！
- ・楽しそうなレクリエーションを体験してみたい！
- ・利用者の皆さんと色々なイベントに参加したい！
- ・日常生活の介護やサポートが必要な方。
- ・自宅での入浴が難しい方。 など



障がいをお持ちの方それぞれに合ったサービスの提供や支援を行います。

各事業所の見学は随時可能です。お気軽にお問い合わせ下さい。



平成29年度の法人経営状況（総括表）

（自）平成29年 4月 1日 （至）平成30年 3月31日

1. 資金収支計算書

（円）

項 目	金 額
事業活動による収支	
介護保険事業収入	176,168
就労支援事業収入	120,705,436
障害福祉サービス等事業収入	370,405,513
借入金利息補助金収入	90,000
経常経費寄附金収入	3,629,000
受取利息配当金収入	3,298
その他の収入	4,818,371
事業活動収入計	499,827,786
人件費支出	241,109,210
事業費支出	56,252,537
事務費支出	52,424,821
就労支援事業支出	111,182,363
支払利息支出	121,500
流動資産評価損等による資金減少額	30,630
事業活動支出計	461,121,061
事業活動資金収支差額	38,706,725
施設整備等による収支	
施設整備等補助金収入	4,380,000
施設整備等寄附金収入	200,000
施設整備等収入計	4,580,000
設備資金借入金元金償還支出	3,000,000
固定資産取得支出	13,748,714
施設整備等支出計	16,748,714
施設整備等資金収支差額	△12,168,714
当期資金収支差額合計	26,538,011
前期末支払資金残高	370,492,184
当期末支払資金残高	397,030,195

3. 貸借対照表

（円）

項 目	金 額
資産の部	
流動資産	425,145,098
固定資産	1,150,081,365
資産の部合計	1,575,226,463
負債の部	
流動負債	43,155,519
固定負債	15,722,455
負債の部合計	58,877,974
純資産の部	
基本金	547,722,338
国庫補助金等特別積立金	318,941,650
その他の積立金	117,647,274
次期繰越活動増減差額	532,037,227
純資産の部合計	1,516,348,489
負債及び純資産の部合計	1,575,226,463

2. 事業活動計算書

（円）

項 目	金 額
サービス活動増減の部	
介護保険事業収益	176,168
就労支援事業収益	120,705,436
障害福祉サービス等事業収益	370,405,513
経常経費寄附金収益	3,629,000
サービス活動収益計	494,916,117
人件費	243,489,210
事業費	56,252,537
事務費	52,424,821
就労支援事業費用	124,969,715
減価償却費	50,293,764
国庫補助金等特別積立金取崩額	△20,224,185
徴収不能額	30,630
サービス活動費用計	507,236,492
サービス活動増減差額	△12,320,375
サービス活動外増減の部	
借入金利息補助金収益	90,000
受取利息配当金収益	3,298
その他のサービス活動外収益	4,818,371
サービス活動外収益計	4,911,669
支払利息	121,500
サービス活動外費用計	121,500
サービス活動外増減差額	4,790,169
経常増減差額	△7,530,206
特別増減の部	
施設整備等補助金収益	4,380,000
施設整備等寄附金収益	200,000
固定資産売却益	29,180
特別収益計	4,609,180
固定資産売却損・処分損	2,139,556
国庫補助金等特別積立金取崩額（除却等）	△1,450,167
国庫補助金等特別積立金積立額	4,380,000
特別費用計	5,069,389
特別増減差額	△460,209
当期活動増減差額	△7,990,415
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額	540,027,642
当期末繰越活動増減差額	532,037,227
次期繰越活動増減差額	532,037,227



■寄附者

- (株)あさひ交通
(株)朝日段ボール
(株)アサヒ包装
井戸婦人会
(有)三洋企画
大善株式会社
平井婦人会
平井奉仕会
(株)F.U.J.I.D.A.N
(株)三木町社会福祉協議会
池田 薫
植村 隆昭
大塚 基史
白井 義男
瀬島 豊吉
高橋 英雄
武川 一弦
長嶋 宣浩
藤澤 怜史
藤原 ミヨ子
松家 昭一
山地 繁雄
- 後援会
- (株)アイネクス
(有)赤井電機商会
アキ・ダンススタジオ
アキヤマオフセット販売(株)
朝川文具店
(株)朝日通商
(株)アサヒパッケージングシステム
(株)アンザイ
(株)生駒屋
(株)石井
(株)石井自動車
香川県農業協同組合 三木支店
医療法人春風会 榎村病院
(株)カナツク
(株)クリイジャパン
(株)合田工務店
(株)合田不動産
(株)河野

- (株)柳紙店
サカタインクス(株)四国支店
サンコー(株)
(有)三洋企画
四国化工(株)
四国警備保障(株)
島食
十河製麺所
大成段ボール(株)
鋼電器
(株)タカネ設計
(有)高松ユニフォーム
武川精米センター
(有)谷沢食料品
(株)中央
(株)ツゲ炭酸工業
徳武産業(株)
トレスタ白山
中村美装
(株)西丸石油
(株)橋本種苗園
(株)平井料理システム
(株)藤沢組
藤田印刷(株)
(株)F.U.J.I.D.A.N
古高松薬局
(有)星野尾米穀店
細谷鮮魚店
(株)松本光春商店
三木建設(株)
(株)三木山田清掃
(株)三井
(株)三菱電機ビジネスシステム
(株)ヤエス
(有)山地青果
(有)山政建設(株)
(有)山本縫製工場
(株)若松薬品
井口多栄子
池上美智子
石川 均
石原 雅
伊藤 良治
井上 孝一
井上 靖彦

- 上野 久美
大久保 和子
大久保 進
岡田 勤
岡田 正
岡本 美子
岡本 敏弘
小倉 謙介
川邊 公明
木村 由美
小関 美子
佐々木 育王
佐々木 哲男
塩崎 重信
島田 タカ子
清水 真治
白井 義男
菅谷 隆志
瀬島 豊吉
十河 澄子
高橋 英雄
武川 勝久
竹内 弘
武川 節子
谷口 清久
樽井 光邦
壺井 邦子
中尾 節子
西川 文雄
西川 明美
- 島 俊則
林 和史
兵頭 慶子
平田 積三
廣瀬 博三
藤井 五十鈴
藤井 美智子
藤澤 孝雄
藤本 昭一
松家 昭等
松原 義洋
松原 哲也
宮幸 かつよ
三好 昇
村尾 安子
茂中 邦子
森 勝子
森 貴代
山内 美代
山下 篤子
山下 美千代
山田 重彦
山本 雅宏
横手 雅守
横山 正和
吉岡 正和
- 創立四十二周年地域交流お花見会
- 【寄附金】
(株)朝日段ボール
(株)カナツク
(有)三洋企画
サンコー(株)
井口多栄子
伊藤 良治
白井 義男
菅谷 隆志
武川 一弘
藤原 ミヨ子
- 【寄贈】
(株)朝日段ボール
(有)三洋企画
サンコー(株)

■地域交流ふれあい秋まつり

- 【寄附金】
(株)朝日段ボール
井口多栄子
伊藤 良治
大久保和子
佐藤 哲男
菅谷 隆志
武川 一弘
藤原 ミヨ子
- 三好 要子
山田 重彦
山田 義信
- 【ボランティア】
高松東高等学校
高松南高等学校
三木高等学校

物干し場

平成三十年五月十七日、平井奉仕会様より物干し場が寄贈されました。
(朝日つばさ)



トイレの手すり

平成二十九年度 地域歳末たすけあい助成にてトイレに転落防止用の可動式手すりが設置されました。
(すずらん)



編集後記

今年度より十月発行「感謝」を皆様に朝日園のイメージを強く持つてもらえたらと思い、タイトルを「あさひ」にリニューアル致しました。
今後とも広報誌「あさひ」をご愛読いただければと存じます。

また、ホームページでも朝日園の魅力を載せておりますので是非、ご覧ください。

広報部会

新着情報で
日々の活動を配信しています。

朝日園 検索

社会福祉法人 朝日園の施設・事業所

☐ 障害者支援施設 **朝 日 園**

〒761-0701 香川県木田郡三木町池戸931番地6
TEL (087) 898-2323
FAX (087) 898-6060

☐ 障害者生活支援センター あ い

〒761-0322 香川県高松市前田東町585番地21
TEL(087)847-1021
FAX(087)847-1031



☐ 障害福祉サービス事業所 **朝日平成園**

〒761-0322 香川県高松市前田東町585番地21
TEL(087)847-3322
FAX(087)847-3023

☐ ホームヘルプ **ホームヘルプあさひ**

〒761-0322 香川県高松市前田東町585番地5
TEL (087) 847-3222・847-4070
FAX (087) 897-2688

☐ 障害福祉サービス事業所 **すずらん**

〒761-0322 香川県高松市前田東町585番地28
TEL(087)847-5666
FAX(087)847-3023



□福祉ホ一ム **朝日ヶ丘**

〒761-0701 香川県木田郡三木町池戸857番地8
TEL (087) 898-2323
FAX (087) 898-6060



□地域活動支援センター あさひ

〒761-0322 香川県高松市前田東町585番地20
TEL (087) 847-3222
FAX (087) 847-3023



☐ 福祉ホーム **朝日つばさ**

〒761-0323 香川県高松市亀田町260番地7
TEL (087) 847-4070
FAX (087) 897-2688



<http://asahien.or.jp/>